

気ばらず、幼い子供から年長者の方々まで、豊かな心の触れ合いの場所として荒川に親しみ、お互いに出来ることから荒川づくりに協力し、ふるさとの川・荒川を清く美しく後世に残すための諸活動を皆さんと共に続けて行きたいと考えております。

社会的には、少子化、核家族化、高齢化が急速に進んでおります。文部省も青少年の健やかな成長とゆとりある教育をめざし、週五日制の完全実施を進めることになりました。週五日制の実施に伴い、子供達が心にゆとりをもって、ふるさとの川・荒川に親しみ、昔のように友達同士で危険な場所や危険な遊びの判断を十分に考え、お互いに助け合いと思いやりの心を養い、植物や小鳥魚等の自然観察を、大人の方々のご指導とご協力を戴き、体験出来る川となることを願っております。

ふるさとの川・荒川づくり協議会の発足に当たり、皆さんと共にそれぞれの分野での役割と調和を考慮し、より良い荒川環境を創り出すと共に、安全で誰もが住んで良かったというまちづくりを進めて行きたいと念願しております。

発足にあたり、改めて皆様のご指導とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

ご善意ありがとうございます

福島市堀河町の横山和弘様 和代様ご夫妻より、福島市での生活が35年5ヶ月無事で過ごせたという感謝の気持ちから、「みどりの日」にあたり、桜の苗木 200本を「ふるさとの川・荒川づくりと心に残る古里づくり」のため、福島市にご寄贈戴きました。

心温まるお気持ち、誠にありがとうございました。
事務局



ふるさとの川・荒川づくり協議会設立総会会場の様子

ふるさとの川・荒川づくり協議会設立総会が開かれました

去る3月14日、福島市役所吉井田支所において、ふるさとの川・荒川づくり協議会の設立総会が開かれました。総会は鈴木浩福島大学教授の司会の下に進行し、平成10年度の活動計画案・活動経費案を審議・決定した後、阿部周次郎氏を会長に選出、閉会しました。

この後、全国水環境交流会多摩センター副代表の山道省三氏による「パートナーシップではじめるふるさとの川・荒川づくり～市民の役割・行政の役割～」と題する記念講演がありました。山道氏の実践報告は市民主体の「川づくり」をいきいきとイメージさせるもので、参加者からは「荒川づくりを進めるにあたってとても参考になった」との声が聞かれました。

平成10年度活動計画

平成10年度の活動計画は下記のようになっております。この他にも、随時、イベントを企画して行きたいと考えております。皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

4	荒川フェスティバル（共催）	10	荒川通信の発行
5		11	
6	役員会(6/2) 荒川通信の発行	12	役員会
7	役員会(7/9) 活動拠点開所式(7/16)	1	役員会 風上げ講習会
8	役員会 夏休み学習会(8/23) 清掃活動 荒川通信の発行	2	荒川通信の発行
9	役員会 清掃活動 荒川沿川を歩く会(9/26)	3	平成10年度活動記録の作成 鮭稚魚放流会

活動拠点開所式は7月16日(木)午前10時に決定！

今年の3月までジギスカンハウスとして市民に親しまれてきました「赤トンボ」（水林自然林キャンプ場そば）が改装され、「荒川河川資料室」として生まれ変わります。ここは荒川の学習拠点となると同時に、荒川を舞台として活動する市民団体の活動拠点ともなります。fanもここを拠点として活動を進めて行く予定です。開所式への皆様のご参加を期待しています。